

第68回:「侄女」の結婚式の Officer たち

先週、親族の結婚式に参列するため故郷の広島に里帰りした。最近の結婚式では媒酌人をたてず、また何処の馬の骨か分からぬような上司や同僚を呼ばないきたりのようで、むかしは頻りに招待され、出費も大変だった職場関係の結婚式にはほとんど声が掛らなくなった。礼服も最近はお出番が少ない。そんなわけで、10年ぶりに華燭の典に参加する榮に浴し、柄にもなく少し緊張してしまった。

当日の朝、最初の参加行事は挙式の直前に行われた両家親族による顔合わせの儀式だった。新郎新婦を真ん中にして両家親族が向かい合って並び、「おじの何某でございます」、「いとこの誰それです」と名乗り合ってくれという。どう切り出しても良いそうだ。黄道吉日だから、気合を入れて「やあやあ、我こそは新婦の伯父にして一族の棟梁たる碩学の・・」と口上を述べるとするか。親戚がずらりと勢揃いしているからといっても、ここは広島太田川であって鎌倉稲瀬川ではない。黙阿弥の七五調で「問われて名乗るもおこがましいが、生まれは芸州船越在～～」と、つらねを述べると、最後の人が「さて、どんじりに控えしは～～」と呼応する必要があるのだ、これは面倒だ。それはさておき、姓名と親類関係を名乗るだけなら誰でもできる。

もしここで、親族としての間柄を漢字で紙に書けといわれたら、年齢の上下や性別によって、伯父、叔母、従兄等と使い分ける必要があり、漢字が苦手な人は大変だろう。ところが漢字発祥の中国では、更に複雑だ。中国では親戚への呼称が、父方・母方・年長・年少・血縁の有無に応じて異なり、親族間の縦横関係が明確に区分されている。いとこを指す言葉が日本で24語のところ、中国では62語にもなるという。中国において親戚関係は日本より遥かに大切な存在なのである。いまの日本で従兄弟といえば他人のようなものである。よほど親しい関係であればともかく、従兄から金を貸してくれと言われ、親族の義務として即座に応諾する人は少ないだろう。ところが中国人社会において従兄弟とは実の兄弟に近い存在である。中国に駐在していた頃、多くの友人が中国女性と結婚し、そして多くが離婚してしまった。例えば中国の奥様から「自分の従兄の子供が日本留学を希望しているので資金援助して欲しい」と相談がある。日本人の主人だったら断る。当たり前だ。ところが奥様から見ると「あんたは人情のかけらもない冷血漢。私はメンツを潰された」とくる。だから中国人と結婚したいと相談を受けたときには「中国の結婚とは、相手のファミリーと結婚することだよ。その覚悟があればどうぞ」とアドバイスしたものである。日中の離婚事例を語ればきりが無い。なかには抱腹絶倒、ヘンリー・ジェームズも真っ青の国際エピソードも多いが、かわいい姪の前途を祝して書いた名文が破鏡不照に及ぶのは本意ではないので離婚の話はこれにて擱筆としよう。

話を親戚用語に戻すと、いま手元にある日中辞典(小学館)の938頁には、家系図を使った中国の親戚解説があり、伯・叔・舅・姨・嫂・姑・姐等に「大」や「父」や「表」等が加わり、「姨父」のような呼称ができあがる。むかし覚えようとしたこともあるが、別に中国の小姐と結婚する予定もなかったのも真面目に勉強しなかった。だから三国志のような作品を読むと親族関係が理解できず、頭が混乱してしまうのである。姪の結婚と三国志は関係ないが、当日初めて会った新郎が礼服に飾緒(モール)佩用、腰にサーベルを吊っているのを見て、ドラマ「坂の上の雲」や映画「レッドクリフ」を思い出したのである。これがレッドクリフであれば、新郎を劉備とすれば、姪の新婦はヴィッキー・チャオ演じる孫尚香姫、その伯父様はトニー・レオン扮する周瑜と

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

いきたいが、新婦側の親戚は日本語でも中国語でも「外戚」だ。そして両家の間をちよろちよろ動き回っている結婚式場の関係者は「宦官」かな？等々つまらぬことを考えていた。新郎新婦は共に防衛大学校の卒業生で、列席者の大半は現役士官であった。制服組に接するのは初めての機会であり、常日頃から中国の軍事研究を進めている筆者にとって、両国の「軍人」を比較する良い機会であった。

経済力で既に日本を上回り、軍事力の増強を急ぐ中国。尖閣諸島や、ノーベル平和賞への対応に見られるように、中華思想的な価値観を周囲に押し通そうとする中国の異様な姿は、近隣諸国から見れば脅威に映る。中国への評価が常に脅威論・崩壊論と両極端に揺れる所以であるが、中国の軍事力に関していえば、いまのところは大したレベルではない。中国が将来世界に覇を称えるためには、圧倒的な経済力と軍事力、そしてソフトの運用力を備える必要がある。19世紀の大英帝国、20世紀の米国の例を見れば一目瞭然である。翻って中国を眺めると、人民解放軍は未だ軽空母すら保有していない。従って空母運用のノウハウはゼロ。航空母艦の運用実績があるのは日米英の三カ国のみだから当然だ。日本は空母を保有していないが、ヘリ空母と呼んだ方が相応しい「ひゅうが」「いせ」という護衛艦を運用している。周囲に遠慮して護衛艦という名前にしているのだろう。また海自には「おおすみ」という輸送艦があるが、これによく似たアメリカの「イオージマ級」は強襲揚陸艦と呼ばれている。羊頭狗肉か狗頭羊肉か知らないが防衛省は日本語の達人である。こんな装備を見て中国が警戒するのは当然である。中国は「殲(J)11」という戦闘機を配備しているが、実はこれ旧ソ連が開発したスホーイ(Su)27のライセンス生産。ロシアが最新兵器を隣国に売るわけがなく、この戦闘機はSu27をスペック・ダウンした所謂モンキー・モデルなのである。

中国の軍備拡張路線はこれからも警戒する必要があるが、日米安全保障条約が有効に機能し、中国がそれを認識していれば、日中両国が緊張関係の中で平和を長期間保つことは充分可能である。幸いなことに中国には「好鉄不打釘、好人不当兵(良い鉄は釘にせず、良い人は兵隊にならない)」という格言があり、優秀な若者は士官学校ではなく、北京大学や清華大学に進み文民の道を歩きたいという心情が極端に強いようだ。余計なお世話だが、世界史をひもとけば、軍人を大切にしない国で栄えた事例はないのである。姪の拳式で士官たちに接し、最近日本の巷に溢れる宦官のような若者に辟易するなか、久々に文武両道に通じる青年たちを見た。蛮勇を奮った踊りも披露頂き、帝国海軍の良き伝統が継承されていることを確信し欣快至極であった。オフィサーの質に問題はない。次は英明な政治家と、炯眼の外交官の出番である。このコンビネーションが機能すれば「四面海もて囲まれし我が敷島の秋津洲」の防衛に懸念はないだろう。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成23年1月19日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。